

123 番の歌 神の秩序にいつでも従う

エホバの導きにこれからも従っていきましょう

「私エホバは、.....あなたを導く」。 イザヤ 48:17 あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、
エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、 あなたを導いて正しい道を歩ませる

ポイント：エホバがご自分に仕える人たちをどのように導いているか、また、エホバの指示に従うならどんな良い結果になるかを考えます。

1. 私たちがエホバに導いてもらう必要があるのはどうしてですか。

森の中で道に迷ったところを想像してみてください。いろいろな危険が潜んでいます。野生動物や、毒を持った虫や植物、岩場などです。でもそんな時、危険な場所はどこか、どうすればそれを避けられるかを教えてくれるガイドが一緒にいてくれるなら、どれほど安心できるでしょう。私たちが生活しているこの世界は、まさに危険な森のようです。信仰を失わせるものであふれています。でも、私たちにはエホバという完璧なガイドがいます。エホバは私たちが危険を避け、新しい世界で永遠に暮らすというゴールに到達できるように導いてくださいます。

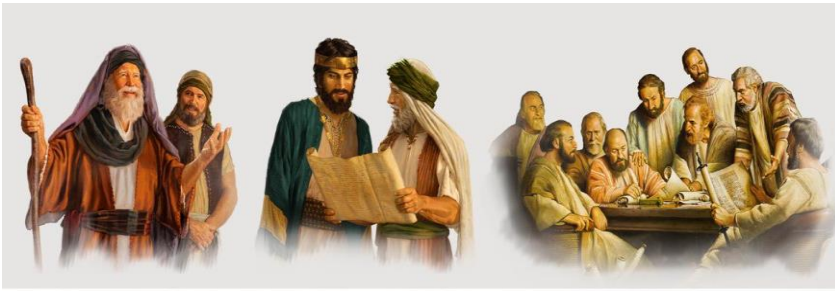
2. エホバはどのように私たちを導いてくれますか。

2 エホバはどのように私たちを導いてくれるのでしょうか。まず第一に、聖書があります。でもそれだけでなく、人間を通して私たちを導いてくれます。「忠実で思慮深い奴隷」は、私たちが賢い決定をすることができるように「食物」を与えてくれます。（マタ 24:45 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか）また、巡回監督や長老などの任命された兄弟たちは、私たちがこの難しい時代を生き抜くために必要な指示や励ましを与えてくれます。終わりが近いこの時期に、エホバは信頼できる兄弟たちを通して私たちを導いてくださっているのです。そのおかげで、私たちはエホバの愛を感じながら、今もこれからも幸せな毎を送ることが出来ます。

3. この記事ではどんな点を学びますか。

3 そうはいつでも、エホバの指示に従うのを難しく感じることもあるかもしれません。不完全な人間を通して指示が与えられる場合は特にそうです。内容が気に入らなかったり、エホバがこんな現実離れした指示をするはずがないと思ったりするのかもしれませんが。そういう場合には、私たちを導いているのはエホバであることや、エホバの指示に従うなら必ず良い結果になることを心から確信する必要があります。それでこの記事では、（1）エホバが聖書時代にご自分の民をど

のように導いたか、(2) 今、私たちがどのように導いているか、(3) エホバの指示に従うならどんな良い結果になるかを考えます。



昔も今も、エホバはご自分に仕える人たちを人間を通して導いている。(3節を参照。)

エホバはイスラエル人をどのように導いたか

4-5. エホバは、モーセを通してイスラエル人を導いているということを明らかにするために、どんなことをしましたか(挿絵参照)

4 エホバは、イスラエル人をエジプトから連れ出すという任務をモーセに与えました。そして、エホバがモーセを通して導いているということをイスラエル人がはっきり分かるようにしました。昼は雲の柱で、夜は火の柱で誘導しました。(出 13:21 エホバは民の前を進んだ。昼は雲の柱で道案内し、夜は火の柱で照らし、民が昼も夜も進めるようにした) モーセがその柱に付いていくと、紅海にたどり着きました。でも、後ろからはエジプト軍が追い掛けてきていました。それで、イスラエル人は逃げ場を失ったと思い、パニックに陥りました。人々は、モーセが間違っただけで紅海まで連れてこられたと思いました。でも間違いではありませんでした。モーセを通して人々を導いていたのはエホバだったからです。(出 14:2 イスラエル人に告げなさい。引き返して、ミグドルと海の間、ピハヒロトの手前に宿営を張るように、と。バアル・ツェフォンが見える所、海辺に宿営を張る) その後、エホバはびっくりするような方法で人々を救い出しました。(出 14:26-28 エホバはモーセに言った。「海の上に手を伸ばしなさい。水はエジプト人の上、戦車と騎兵たちの上に戻る」。27 モーセがすぐ海の上に手を伸ばすと、夜が明ける前に海はいつもの状態に戻った。エジプト人は逃げようとしたが、エホバはエジプト人を海の中に払い落とした。28 戻っていく水が、民を追って海に入ったファラオの全軍、戦車と騎兵たちに覆いかぶさった。誰一人生き残らなかった)



モーセは荒野で神の民を導く時、雲の柱に従った。(4-5節を参照。)

5 その後の 40 年間も、エホバは荒野にいる人々を雲の柱によって導きました。モーセはその導きに従い続けました。*エホバはご自分の民を約束の地へ導くために、1 人の天使が「イスラエル人の前を進」むようにしました。この天使はミカエル、つまり人間になる前のイエスでした。(出 14:19; 32:34) 雲の柱はモーセの天幕にとどまることがあり、イスラエル人は皆それを見ることができました。(出 33:7 モーセは宿営の外、宿営から離れた所に自分の天幕を張り直し、それを会見の天幕と呼んだ。エホバに何かを尋ねる人は皆、宿営の外にあるその会見の天幕に行くのだった、9, 10 モーセが天幕に入ると、雲の柱が下ってきて、神がモーセと話す間、天幕の入り口にとどまった。10 民は皆、雲の柱がその天幕の入り口にとどまっているのを見て、それぞれ自分の天幕の入り口でひれ伏した) エホバは雲の柱を通してモーセに語り掛け、モーセはその指示を人々に伝えました。(詩 99:7 神は雲の柱の中から語り掛けた。彼らは神から与えられた教訓(*思い出させるもの)と規定を守った) イスラエル人は、エホバがモーセを通して導いているということがはっきり分かったはずです。



モーセと後継者のヨシュア (5, 7 節を参照。)

6. イスラエル人はどんな反応を示しましたか。(民数記 14:2, 10, 11)

6 エホバがモーセを通して導いているはつきりとした証拠があったにもかかわらず、イスラエル人の多くはそれを退けました。(民数記 14:2 イスラエル人は皆モーセとアロンに対して不満を口に始め、民全体がこう言った。「私たちはエジプトで死んでいけばよかった。あるいは、この荒野で死んでいけばよかった、10, 11 しかし民は皆、2 人を石打ちにすることについて話した。すると、エホバの栄光がイスラエルの民全てに、会見の天幕の上に現れた。11 エホバはモーセに言った。「この民はいつまで私に不敬な振る舞いをするのか。私が彼らの間で行った全ての奇跡(d*しるし)を見ながら、いつまで私に信仰を持たないのかを読む。')そして、エホバから与えられたモーセの役割を認めようとせず、何度も反抗しました。その結果、イスラエル人のこの世代が約束の地に入ることはできませんでした。(民 14:30 あなたたちは私が住まわせると誓った土地に入ることはない。ただし、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアは別である)

7. エホバの導きに従ったどんな人たちがいますか。(民数記 14:24) (挿絵も参照。)

7 しかし、エホバの導きに従った人たちもいました。エホバはこう言いました。「カレブは.....心から私の後に従ってきた」。(民数記 14:24 ただし、私に仕えるカレブは、異なる精神を持っており、心から私の後に従ってきたので、私は、彼が行った土地に必ず彼を連れていく。彼の子孫はそこを所有するを読む。') 神はカレブに報いを与え、カナン地方で好きな土地を選べるようにしました。(ヨシュ 14:12-

14 ですから、エホバがその日に約束してくださったこの山地を私に与えてください。その日にあなたも聞いたように、そこにはアナク人がいて、防備された大きな町がありますが、エホバはきっと私と共にいてくださいます。エホバの約束通り、私は彼らを追い払います」。13 ヨシュアはエフネの子カレブのために祝福を願い求め、ヘブロンを与えた。14 こうしてヘブロンはケナズ人エフネの子カレブの所有地となって今に至っている。カレブがイスラエルの神エホバに心から従ったからである) 約束の地に入れなかったイスラエル人の子孫も、エホバの導きに従いました。ヨシュアがモーセの後を継いでイスラエル人の指導者として任命された後、人々は「ヨシュアにもその一生の間、深い敬意を示し」ました。(ヨシュ 4:14 その日エホバはイスラエル全体の前でヨシュアを重んじた。民はモーセに深い敬意を示した(d*を恐れた)ように、ヨシュアにもその一生の間、深い敬意を示した) そのため、エホバはそれらの人々が約束の地に住めるようにしました。(ヨシユ 21:43, 44 エホバは、父祖たちに与えると誓った全ての土地をイスラエルに与え、彼らはそれを取得して住むようになった。44 エホバはさらに、父祖たちに誓った通りに彼らが全ての場所で安心して住めるようにし、敵は誰一人、彼らに立ち向かえなかった。エホバは全ての敵を彼らの手に渡した)

8. 王たちの時代に、エホバはご自分の民をどのように導きましたか。(挿絵も参照。)

8 その後の時代、エホバはご自分の民を導くために裁き人を任命し、王たちの時代には預言者たちを遣わしました。良い王たちは預言者たちのアドバイスに従いました。例えば、ダビデは預言者ナタンに正された時、自分の間違いを認めて矯正を受け入れました。(サム二 12:7 そこでナタンはダビデに言った。「その人はあなたのことです! イスラエルの神エホバはこう言っています。『私はあなたを選んで(d*に油を注いで/g 元のヘブライ語の基本的な意味は「液体を塗る」。人が特別な奉仕のために選ばれたことや、物が特別な用途のために献じられたことの象徴として、その人や物に油が注がれた。原語の「油を注ぐ」という表現は単に「選ぶ」という意味で使われることがあり、必ずしも実際に油が注がれたわけではない。ギリシャ語聖書では、天で生きる見込みを持つ者として選ばれた人たちに聖なる力が注がれることを指して使われている)イスラエルの王とし、あなたをサウルから助け出した、13 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました」。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません。代一 17:3, 4 その夜、神はナタンに言った。4 「私に仕えるダビデにこう言いに行きなさい。『エホバはこう言っている。『私が住む家を建てるのはあなたではない) エホシャファトは、預言者ヤハジエルのアドバイスに従い、「神の預言者たちを信じ」るように民に勧めました。(代二 20:14, 15 会衆の中で、ヤハジエルがエホバの聖なる力を受けた。彼は、アサフの子孫であるレビ族マタヌヤの子エイエルの子ベナヤの子ゼカリヤの子である。15 彼は言った。「ユダの全ての人、エルサレムの住民、エホシャファト王よ、よく聞いてください。エホバは皆さんにこう言っています。『この大軍のことで恐れたりおびえたりしてはならない。これはあなたたちの戦いではなく神の戦いである、20 翌朝、彼らは早く起きて、テコアの荒野に出ていった。彼らが出ていく時、エホシャファトは立ち上がって言った。「ユダとエルサレムの住民たち、聞きなさい。エホバ神を信じなさい。そうすれば動じないでいられ(*耐えられ/生き延びられ)ます。神の預言者たちを信じなさい。そうすれば全てうまくいきます」) ヒゼキヤは危険が迫っていた時、預言者イザヤに助けを求めました。(イザ 37:1-6 それを聞いたヒゼキヤ王は衣服を引き裂き、粗布を身に着け、エホバの家に入った。2 それから、家(*宮殿)の人たちのまとめ役エリヤキム、秘書官シェブナ、祭司の長老たちに粗布を身に着けさせ、アモツの子である預言者イザヤの所に遣わした。3 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう言っています。『今日は苦難と叱責(*侮辱)と屈辱の日です。子供が生まれそうなのに産む力がないのです。4 エホバ神がラブシャケの言葉を聞き流すことはないでしょう。彼は、生きている神をあざけるよう、主人であるアッシリアの王から遣わされました。エホバ神は、聞いた事柄について彼に責任を問われ

ます。それで、生き残っている人たちのために祈ってください』」。5 イザヤの所にやって来たヒゼキヤ王の家来たちに、6 イザヤは言った。「皆さんの主人にこう言いなさい。『エホバはこう言っています。「あなたが聞いた言葉、アッシリアの王の従者たちが語った私への冒瀆の言葉のことで恐れてはならない」王たちがエホバの指示に従った時、エホバは王たちを助け、民を守りました。（代二 20:29, 30 周辺のどの王国も、エホバがイスラエルの敵と戦ったことを聞き、神からの恐怖に包まれた。30 そのため、エホシャファトの王国には騒乱がなく、神は引き続き周囲の敵からエホシャファトを守って安心させた。32:22 こうしてエホバは、アッシリアのセナケリブ王とほかの全ての者の手からヒゼキヤとエルサレムの住民を救い、周囲の敵から守って安心させた）エホバが預言者たちを通してご自分の民を導いているということは、誰の目にも明らかでした。でも、王と民のほとんどはエホバの預言者たちに従いませんでした。（エレ 35:12-15 すると、エホバがエレミヤに語り掛けてこう言った。13 「イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言う。『行って、ユダの人たちとエルサレムの住民に告げなさい。エホバはこう宣言する。「あなたたちは、私の言葉に従うようにと何度も忠告されたのではないか。14 レカブの子エホナダブは、ぶどう酒を飲まないようにと子孫に命じ、彼らはその言葉を守った。今までずっとぶどう酒を飲まず、父祖の命令に従ってきた。ところがあなたたちは、私が繰り返し(d*早く起きては)語り掛けたにもかかわらず、私に従わなかった。15 私は、私に仕える預言者全てをあなたたちのもとに遣わし続けた。繰り返し(d*早く起きては)遣わしてこう言った。『どうか、一人一人が悪い生き方をやめ、正しいことを行ってほしい。ほかの神々に従って歩んだり、仕えたりしてはならない。そうすれば、私があなたたちと父祖たちに与えた土地に住み続けることになる』。しかし、あなたたちは私の言うことに耳を傾けず、聞かなかった）



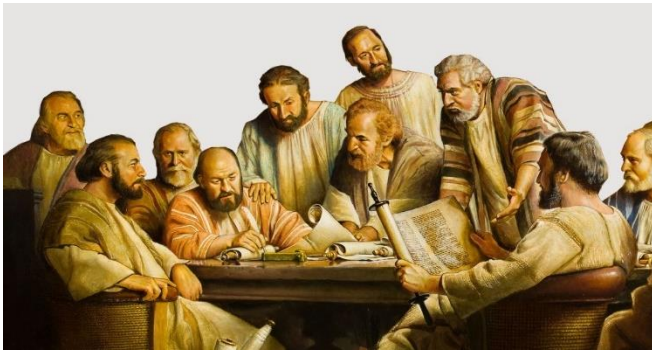
ヒゼキヤ王と預言者イザヤ（8節を参照。）

エホバは1世紀のクリスチャンをどのように導いたか

9. エホバはどのようにして1世紀のクリスチャンを導きましたか。（挿絵も参照。）

9 1世紀に、エホバは会衆が設立されるようにしました。どのようにして当時のクリスチャンを導いたのでしょうか。イエスを会衆の頭に任命しました。（エフェ 5:23 夫は妻の頭だからです。キリストが会衆という体の頭であるのと同様です。キリストは会衆の救い主でもあります）でもイエスは、クリスチャン一人一人に直接指示を与えたわけではありません。エルサレムにいる使徒や長老たちを通して指示を与えました。（使徒 15:1, 2 さて、ある人たちがユダヤから下ってきて、兄弟たちに、「モーセの慣例通り割れを受けない限り、救われない」と教え始めた。2 それで、パウロとバルナバと、その人たちとの間で、かなりの対立と議論が生じた。この件で、パウロとバルナバと何人かが、エルサレムにいる使徒や長老たちのもとに上ることになった）そして、各会衆を導くために長老たちを任命しました。（テサー 5:12 兄弟たち、次のことをお願いします。皆さんの中で一生懸命に働き、主に仕えつつ皆さんを監督し助言を与えている人たちに、敬

意を払ってください。[テト 1:5](#) 私があなたをクレタに残したのは、私の指示通りに問題(*不十分な点)を正し、それぞれの町に長老たちを任命してもらうためです)



エルサレムの使徒と長老たち (9 節を参照。)

10. (ア) 1 世紀のクリスチャンの多くは、与えられた指示に対してどのように反応しましたか。 ([使徒 15:30, 31](#)) (イ) 聖書時代のある人たちが、エホバから責任を委ねられている人たちを退けたのはどうしてですか。 (「[はっきりとした証拠があっても認められなかったのはどうしてか](#)」という囲みを参照。)

10 1 世紀のクリスチャンは、与えられた指示に対してどのように反応したのでしょうか。多くの人は喜んで従いました。「人々は.....励ましの言葉を喜んだ」と記録されています。 ([使徒 15:30, 31](#) こうして、この人たちは送り出されてアンティオキアに下り、皆を集めて手紙を渡した。31 人々はそれを読んで、励ましの言葉を喜んだを読む。) では、エホバは現代の私たちをどのように導いているのでしょうか

はっきりとした証拠があっても認められなかったのはどうしてか

エホバがご自分に仕える人たちを人間を通して導いている、というはっきりとした証拠を受け入れられない人たちもいました。どうしてでしょうか。多くの場合、誇りの気持ちが原因でした。

([ヨハ 3:19](#) さて、裁きの根拠は次の通りです。光が世に来ているのに、人々は光ではなく闇を愛しました。邪悪なことを行っていたからです。[ペテ二 3:3, 4](#) まずこのことを心に留めてください。終わりの時代には、あざける人たちがやって来てあざけり、欲望のままに行動し、4 こう言うでしょう。「約束されていた彼の臨在(*g**ギリシヤ語聖書の中で、イエス・キリストが王として在位していることを指して使われる言葉。キリストの臨在は、メシアである王として目に見えない状態で即位した時から、この体制の終わりの時代の間続く。到来してすぐに去るようなものではなく、一定の期間に及ぶ)はどうなっているのか。私たちの父祖が死の眠りに就いた日から何も変わっていない。全てのものは創造の始めの時と全く同じではないか」。[ユダ 18](#) こう言っていました。「終わりの時には、あざける人たちが現れ、神を敬わずに欲望のままに行動します」) 例えば、一部のイスラエル人は、偉く見られたいという気持ちが強かったので、モーセがエホバに選ばれた指導者であることを認めようとしませんでした。(民 16:1-3 レビの子コハトの子であるイツハルの子コラが、エリアブの子であるダタンとアビラム、およびペレトの子オン、すなわちルベンの子孫と共に立ち上がった。2 その人たちは、イスラエル人男性 250 人と共にモーセに対して立ち上がった。民の長で、会衆の選ばれた著名な人たちである。3 モーセとアロンに逆らって集結し、こう言った。「あなたたちにはもううんざりだ。民全体、その全員が聖なる人で、エホバはその中にいるのだ。それなのに、どうしてエホバの会衆の上に立とうとするのか」) 同じような理由で、1 世紀の多くの人たちも、奇跡を行ったイエスのことを退けました。(ヨハ 12:37 イエスが人々の前で非常に多くの奇跡を行ってきたのに、人々はイエスに信仰を持たず、43 神からの称賛(*是認)よりも人からの称賛(*是認)を愛したのである) 一方、真理を心から愛する謙虚な人たちは、エホバがご自分に仕える人たちを人間を通

して導いているということを認めてきました。（[マタ 16:16, 17](#) シモン・ペテロが答えた。「キリスト、生きている神の子です」。17 それでイエスは言った。「ヨナの子シモン、あなたは幸福です。なぜなら、そのことを啓示したのは人間ではなく、天にいる父だからです」）そのように指示に従うなら、必ず良い結果になります。

エホバは現代の私たちをどのように導いているか

11. 現代も、エホバはご自分に仕える人をどのように導いていますか。

11 エホバはご自分に仕える人を、聖書と会衆の頭であるイエスによって今も導いておられます。人間を通しても導いているのでしょうか。その通りです。例えば、1800 年代後半の出来事について考えてみましょう。チャールズ・テイズ・ラッセルと仲間たちは、1914 年が神の王国の設立に関する重要な年になると考えるようになりました。（[ダニ 4:25, 26](#) あなたは人々の中から追いやられ、野獣とすみかを共にし、雄牛のように草を食べることになります。天からの露にぬれるままになり、こうして 7つの時が過ぎます。そしてあなたは、至高者が人間の王国の統治者であり、ご自分の望む者にそれを与えるということを知るのです。26 木の切り株と根は残しておくようにとのことでしたから、天が治めているということを知った後に、王国は再びあなたのものになります）そのような結論に至ったのは、聖書に書かれている預言を注意深く調べたからです。エホバはそうした兄弟たちを確かに導いていました。1914 年に起きた世界の出来事は、神の王国が統治を始めたことを示しています。第 1 次世界大戦が起こり、流行病、地震、食糧不足があちらこちらで見られました。（[ルカ 21:10, 11](#) それからイエスは言った。「国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がります。11 大きな地震があり、あちらこちらで食糧不足や流行病があります。また、恐ろしい光景や天からの大きなしるしがあります」）エホバはこれらの誠実な兄弟たちを通して、ご自分に仕える人たちを助けていたのです。

12-13. 伝道し、教える活動を推し進めるために、第 2 次世界大戦中にどんな進展がありましたか。

12 第 2 次世界大戦中はどうだったでしょうか。世界本部の責任ある兄弟たちは啓示 17 章 8 節あなたが見た野獣はかつていましたが、今はいません。しかし底知れぬ深みから上ろうとしており、やがて滅びることになります。地上に住む人々、世が始まって以来、命の巻物に名前が書かれていない人々は、野獣がかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます。を注意深く研究した結果、この戦争がハルマゲドンまでずっと続くわけではないということを理解しました。そして、戦争の後さらに多くの人に伝道することのできる平和な時期が来る、ということも知りました。それで、あまり現実的ではないように思えた時期に、兄弟たちはものみの塔ギレアデ聖書大学を設立しました。*これは後に、ものみの塔ギレアデ聖書学校と呼ばれるようになりました。それは、世界中で伝道し、人々を教えることができるように、宣教師たちを訓練するための学校でした。戦争中も宣教師たちは各地に派遣されました。さらに、全ての伝道者がより上手に伝道し、教えることができるようになるために、各会衆で神権宣教師課程も始まりました。*これは後に、神権宣教師学校と呼ばれるようになりました。現在も週日の集会でトレーニングが行われています。このように、エホバに仕える人たちがさらに伝道活動を推し進めることができるように、訓練が行われていきました。

13 振り返ってみると、この大変な時期にエホバがご自分に仕える人たちを導いていたことは明らかです。第2次世界大戦以降、エホバの証人は平和な時期を活用して多くの国や地域で良い知らせを自由に伝えています。その結果、たくさんの人がエホバを知るようになっています。

14. エホバの組織や長老たちの指示を信頼できるのはどうしてですか。（啓示 2:1）（写真も参照。）

14 現在、統治体はキリストに導きを求め続けています。いつでもエホバとキリストの見方を反映した指示を兄弟姉妹に与えたいと思っています。そして、巡回監督や長老たちを通して会衆に指示を与えています。*「ものみの塔」2021年2月号18ページの「統治体の役割」の囲みを参照。聖書によると、長老たちはキリストの「右手」の中にあります。（啓示 2:1 エフェソスにある会衆の使者に書き送るなさい。右手に7つの星を持ち、7つの金のランプ台の間を歩く者が、こう言いますを読む。）もちろん、長老たちはみんな完璧ではなく失敗もします。モーセやヨシュア、そして使徒たちも失敗することがありました。（民 20:12 その後エホバはモーセとアロンに言った。「あなたたちは、私に信仰を示さず、イスラエルの民の目の前で私を神聖なものとしなかったので、私が与える土地にこの会衆を連れて入ることはない」。ヨシュ 9:14, 15 人々は彼らの食料をいくらか手に取って(*調べて)みたが、エホバに尋ねることはしなかった。15 ヨシュアは平和を約束し、彼らを生きしておくという契約を結んだ。民の長たちもそのことを彼らに誓った。ロマ 3:23 全ての人は罪人になったので、神の栄光に達することができません）でもイエスは、忠実な奴隷や長老たちを注意深く導き、「体制の終結までいつの日も」そうしてください。（マタ 28:20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです）それで私たちは、教え導く責任を与えられている兄弟たちを心から信頼することができます。



現在の統治体（14節を参照。）

エホバの指示にいつも従うなら良い結果になる

15-16. エホバのアドバイスの従った人たちの経験から、どんなことを学べますか。

15 エホバの指示にいつも従うなら、大きな喜びを味わえます。アンディー兄弟とロビン姉妹は、生活をシンプルにするようにというアドバイスに従いました。（マタイ 6:22 の注釈目は体にとって明かりです。もし目の焦点が合っていれば、体全体が明るいでしょうを参照。）その結果、建設奉仕に参加できました。ロビン姉妹はこう言います。「キッチンもない、狭い所で暮らしたこともあります。写真を撮るのが大好きだったのでいろいろな機材を持っていたんですが、それも売りました。寂しくて涙が込み上げてきました。でもアブラハムの妻サラのように、手放したのではなく、

エホバのためにできることに目を向けようと思いました」。(ヘブ 11:15 もし彼らが、後にした場所をいつも思い出していたのであれば、帰る機会もあったことでしょう) どんな良い結果になったのでしょうか。姉妹はこう言います。「自分の全てを尽くしてエホバにお仕えできているので、とても幸せです。エホバから割り当てられた奉仕を行うと、『新しい世界の生活ってこんな感じなのかな』と楽しみになります」。アンディー兄弟も同じ気持ちです。「王国のために自分の時間やエネルギーを使うことができているので、とても充実しています」と言っています。

16 エホバの指示に従い続けるなら、ほかにもどんな良いことがあるのでしょうか。マーシア姉妹は高校を卒業した後、エホバへの奉仕を第一にするように、という励ましに従いたいと思いました。(マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしましょう。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。ロマ 12:11 怠けたりせず、よく働いてください。聖なる力によって熱意に燃えましょう。エホバに一生懸命仕えてください) 姉妹はこう言っています。「大学の奨学金を4年間もらえるという話がありました。でも、エホバのためにベストを尽くしたいと思いました。それで、奨学金の話は断り、商業について学べる専門学校へ行くことにしました。その方が開拓奉仕をやっていくのに役立つと思ったからです。この決定ができて本当に良かったです。今、開拓奉仕をしています。予定を調整しやすい仕事に就くことができたので、ベテルでコンピューターとしても奉仕しています。ほかにもいろいろな奉仕を楽しんでいます」。

17. エホバの導きに従うなら、ほかにもどんな良いことがありますか。(イザヤ 48:17, 18)

17 時々、私たちを守るために助言が与えられることがあります。例えば、エホバのおきてを破りかねないことをしたりお金を愛したりしないように、という助言です。こういう場合も、エホバの導きに従うなら必ず私たちのためになります。やましい気持ちや不必要なストレスを抱えずに済みます。(テモ 6:9, 10 しかし、裕福になろうとする人たちは、誘惑とわなに陥り、多くの無分別で有害な欲望を抱き、破滅と滅びに至ります。10 お金を愛することは、あらゆる悪い事柄の根なのです。ある人たちはこの愛にとらわれて信仰を失い(*クリスチャンの信条から迷い出)、多くの苦痛を身に招き(d*多くの苦痛で自分の全身を刺しました) その結果、心を込めてエホバを崇拝することができるので、深い喜びや穏やかな気持ち、満足感を味わえます。(イザヤ 48:17, 18 あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば! そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなるを読む。)

18. エホバの導きに従い続けることが大切なのはどうしてですか。

18 エホバは、大患難とその後に続く千年統治の間も、人間を通して私たちを導いてくださることでしょう。(詩 45:16 あなたの子たちは父祖たちにとって代わる。あなたは彼らを全世界で高官に任命する) 与えられる指示が自分の望むこととは違う場合でも、あなたは従い続けますか。今エホバが与えてくださっている導きに従っているなら、将来もそうしやすくなることでしょう。ですから、どんなときもエホバの導きに従いましょう。私たちを見守るよう任命されている人たちの指示に従うことも大切です。(イザ 32:1, 2 1 人の王が正義のために統治する。高官たちが公正のために治める。2 彼らはおのおの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った

土地にある大岩の陰のようになる。[ヘブ 13:17](#) 皆さんを教え導いている(*皆さんの中で率先している)人たちに従い、進んで応じてください。その人たちは皆さんを見守っており、そのことに関して責任を問われることになります。それで、その人たちが喜んで働けるようにしてください。もし嘆きながら働くことになれば、それは皆さんのためになりません) そうするなら、最高のガイドであるエホバは、私たちが信仰を失うことなく、新しい世界での永遠の命というゴールにたどり着けるよう導いてくださいます。

どのように答えますか

1. エホバはイスラエル人をどのように導きましたか。

- ・S04 エホバは、イスラエル人をエジプトから連れ出すという任務をモーセに与え、エホバがモーセを通して導いているということをイスラエル人がはっきり分かるようにした
- ・S05 その後の 40 年間も、エホバは荒野にいる人々を雲の柱によって導きました。モーセはその導きに従い続けた。エホバは雲の柱を通してモーセに語り掛け、モーセはその指示を人々に伝え、イスラエル人をエホバがモーセを通して導いているということがはっきり分かるようにした
- ・S08 その後の時代、エホバはご自分の民を導くために裁き人を任命し、王たちの時代には預言者たちを遣わした。良い王たちは預言者たちのアドバイスに従った。例えば、ダビデは預言者ナタンの矯正を受け入れ、エホシャファトは、預言者ヤハジエルのアドバイスに従い、ヒゼキヤは危険が迫っていた時、預言者イザヤに助けを求めた。王たちがエホバの指示に従った時、エホバは王たちを助け、民を守った

2. エホバは 1 世紀のクリスチャンをどのように導きましたか。

- ・S09 1 世紀に、エホバは会衆が設立されるようにし、会衆の頭に任命されたイエスは、エルサレムにいる使徒や長老たちを通して指示を与え、各会衆を導くために長老たちを任命した。与えられた指示に多くの人は喜んで従い、それは良い結果となった

3. エホバの指示やアドバイスに従うことが私たちのためになるといえるのはどうしてですか。

- ・S11 エホバはご自分に仕える人を、聖書と会衆の頭であるイエスによって今も人間を通して、導いておられる
- ・S13 例えば、第 2 次世界大戦の大変な時期にギレアデ聖書学校が設立されたり、各会衆の神権宣教課程を通して伝道活動を推し進めるための訓練が行われ、エホバがご自分に仕える人たちを導いていたことは明らか。第 2 次世界大戦以降、エホバの証人は平和な時期を活用して多くの国や地域で良い知らせを自由に伝えて、たくさんの人がエホバを知るようになった
- ・S14 イエスが忠実な奴隷や長老たちを「体制の終結までいつの日も」注意深く導いてくださっているのです、私たちは、教え導く責任を与えられている兄弟たちを心から信頼することができる
- ・S15-16 エホバの指示にいつも従うなら、大きな喜びを味わえる。例えば、兄弟姉妹たちは、生活をシンプルにするようにというアドバイスに従って喜びを経験してきた
- ・S17 時々お金を愛したりしないようになどの私たちを守るために助言が与えられることがあるが、エホバの導きに従うなら必ず私たちのためになる。やましい気持ちや不必要なストレスを抱えずに済み、心を込めてエホバを崇拝することができるので、深い喜びや穏やかな気持ち、満足感を味わえる
- ・S18 エホバは、大患難とその後に続く千年統治の間も、人間を通して私たちを導いて、私たちが信仰を失うことなく新しい世界での永遠の命というゴールにたどり着けるよう導いてくださる

[48 番の歌](#) 毎日エホバと共に歩む